学会記事

◎定例常議員会 (昭.32.5.28) 出席者：平山会長，種谷，米田両副会長，粟津，石上，川口，井上（代伊藤）の各常議員，鶴見，那波両名誉員，東，高坂，逸見，米屋の各理事，委任状 30 通。常議員総数の過半数出席と認められるにより常議員会成立。

議事： 1) 昭和 32 年度会長，副会長，理事を選挙の結果，次のとおり決定した。

会長	工博 内海清温君	電源開発株式会社総裁
副会長	篠原武司君	日本国有鉄道・鉄道技術研究所長
理事	高坂榮朗君	日本国有鉄道・建設局線増課長
〃	工博 国分正胤君	東京大学教授
〃	高野 務君	建設省道路局道路企画課長
〃	工博 中安米蔵君	建設省河川局計画課長
〃	三島慶三君	通産省公益事業局水力課

2) 昭和 31 年度事業報告案（東理事説明）を承認，3) 昭和 31 年度決算報告案（飯吉理事説明）を承認，4) 名誉員候補者として，平井喜久松，永井専三，小野諒兄の 3 氏を推すこと， 5) 土木学会規則第 6 条中 50 000 円を 300 000 円とし次のとおり改正することを承認，

第 6 条　賛助員はこの学会の趣旨を賛成し一時に金 300 000 円以上またはそれに相当する物件を寄付した者である。

6) その他報告事項。

◎ **第 13 回理事会** (昭.32.5.10) 出席者：平山会長，種谷副会長，東，飯吉，丸安，中安，逸見，米屋の各理事。議事： 1) 4 月中の行事その他報告， 2) 後任理事候補者について，3) 名誉員推挙候補者について，4) 昭和 31 年度事業報告および決算報告案について，5) 土木学会規則第 6 条の改正案について， 6) 委員会役員の追加交代について，

a) 会誌抄録委員会（二階堂委員の後任として丸山速夫君，久野委員の後任として岩間 滋君，稲田委員の後任として高秀秀信君，嶋委員の後任として高橋 裕君）

b) 大正以降土木史委員会（金子 柾君に代り関東地建局長佐藤寛政君を副委員長に）

c) 原子力委員会に委員として近藤利八，長山泰介，佐藤清一，藤原良治の諸君，幹事に高橋幹二君を追加。

d) 会誌編集委員会（猪股俊司君の後任に武部健一君，菊池三男君の後任に南 俊次君，林 一幹君の後任に粟津清蔵君，針ケ谷 佶君の後任に三上 澄君，松本繁樹君の後任に尾形武男君），

e) 土木設計管理小委員会に野瀬正儀君を追加，

7) フライアッシュ委員会の設置については委員会の構成を研究の上次回にゆずる。 8) 関東地区常議員半数改選開票および立会者について， 9) 常議員会開催日を 5 月 28 日とする，10) 総会次第について，11) 基金運用について，12) その他。

◎ **各種委員会**

1. 第 12 回会誌編集委員会 (昭.32.5.24) 出席者：糸川，丸安正副委員長，杉田，梅木，久保，尾藤（代），尾形（代），針ケ谷，林，森，小林，猪股，坂野（代），岡崎，八十島，後藤（東北）各委員，中川書記長，深谷幹事，岡本編集部員。協議事項：1) 投稿原稿報告，2) 原稿依頼状況，3) 新講座について，4) 42 巻 7 号（増大号）登載原稿を次のとおり予定した。

平山復二郎：会長講演，大坪喜久太郎：北海道綜合開発，更科源蔵：北海道郷土史，岡本舜三：地震工学，西沢 治・今井 孝：ゲート重量推定に関する一考察，水野俊一：コンクリートの品質管理のための管理図の使い方，稲積豊次・大井一郎：鉄筋の溶接講座，その他。

2. 第 12 回会誌編集小委員会 (昭.32.5.10) 出席者：糸川，丸安正副委員長，小林，久保両委員，奥田ニュース担当委員（代吉岡），深谷幹事，岡本編集部員。協議事項：6 月号編集につき最終的打合せを行つた。

3. 第 12 回会誌抄録委員会 (昭.32.5.6) 出席者：八十島委員長，垣中，久野，小池，嶋，西沢，沼田，二階堂（代丸山），堀井，山田，湯浅，渡部の各委員，山口幹事，岡本編集委員。協議事項：1) 42 巻 6 号登載用として 5 編を予定，2) 6 号文献目録を協議，3) 抄録委員交代の確認，4) その他。

4. 第 6 回論文集編集部会長会 (昭.32.5.20) 出席者：岡本，佐島両部会長，白石，徳平，佐伯各幹事。議事：1) 各部会議事につき再審議，2) 編集委員の交代承認，3) 論文集 47 号登載原稿の審議。

5. 第 6 回論文集編集部会長会 (昭.32.5.8)

出席者：第 1 部会　岡本部会長，山田，三浦，安浪，山口，久保各委員
第 2 部会　本間部会長，岩塚，林，吉川，白石（直）各委員
第 3 部会　星埜部会長，市原，白石（俊）各委員
第 4 部会　佐島部会長，及川，北岡各委員

議事： 1) 各部会の論文審査報告および新規受付論文の審査，2) 委員交代の確任，3) その他。

6. 第 1 回土木設計管理小委員会 (昭.32.5.2) 出席者：平山会長，豊田，加納，仁杉，畠山，久保，増山，近藤，塘，八十島，秋山（代近藤），河野，大西，吉田（赳），吉田（良）の各委員。議事： 1) 土木振興対策委員会の経過と本委員会設置の目的について平山会長から説明， 2) 委員長の選任は種々協議の結果，土木振興対策委員会に一任， 3) 河野委員から ASCE の技術者 (Engineer) の職務規律と職業便覧を参考資料として提案，4) そのほかに職務内容の詳細規程があるが次回に資料として各委員に配布する， 5) 設計業務の定義その

他を決定して技術の独立をめざすこと， 6) 電源開発から委員1名追加方畠山委員から要望。

第2回同委員会 (昭. 32.5.15) 出席者：平山会長，中安，豊田，仁杉（代坂），畠山（代松原），久保，近藤，塘，八十島，河野（代磯部），大西，吉田（赳），吉田（良），野瀬（代木村）の各委員。議事： 1) 委員長は土木振興対策委員会できめることにして平山会長がこれに代り進行，5月 13 日技術士法が国会を通過した， 2) 河野委員から Some Aspects of Engineering Services の第2項の Services of the Engineer を検討した，3) 土木に関するライセンスを有する Engineer の訳語を工務士とする，4) 第2項の各条項の邦訳を検討した，5) 次回には建設省，国鉄等の実例を集める。

7. 第1回原子力委員会 (昭.32.5.6) 出席者：平山会長， 福田委員長，東（代石綿），飯吉，岡本，神谷，中安，畠山，逸見，米屋，米田（代豊田）の各委員，白石幹事。 議事：1) 会長に代つて中安理事から挨拶の後，福田委員長の挨拶があり，白石幹事から各所で研究している概要調査報告， 2) 神谷委員からコールダーホール型原子炉の耐震問題について科学技術庁資源局防災部会で提案され，また原子力委員会の中に耐震委員会（土木の人は神谷氏だけ）でも研究中との経過を述べた， 3) この委員会としてはまず資料を収集し，土木的な諸問題をとり上げてゆく， 4) 次回に原子力研究所の長山泰介氏の話を聞くこととする， 5) 関西研究用原子炉設置準備委員会からの照会は会誌に登載すること， 6) 各関係の向に土木学会に本委員会設置の体制ができたことを知らせる必要がある， 7) 次の諸氏を委員に追加すること。近藤利八，長山泰介，佐藤清一，藤原良治，（幹事）高橋幹二（科学技術庁原子力局アイソトープ課）。

第2回同委員会 (昭.32.5.20) 出席者：福田委員長，種谷，米田（代伊地知），東（代石綿），飯吉，高坂，中安，畠山，平井，丸安，米屋，神谷，長山，近藤，佐藤，藤原，豊田の各委員，白石幹事。議事：1) 映画 Atomic achivement と Calder Hall (British Council 提供) とを撮影し長山委員説明， 2) 長山委員から電子炉についての講演あり，また東海村に工事中の原子力研究所について説明， 2) 次回には電研の君島氏に遮蔽についての講演を依頼すること。

8. コンクリート委員会 (昭.32.5.8) 出席者：吉田委員長，中安理事， 国分， 山田， 三浦（代杉木），水越，平野，関，野瀬（代太宰），河原の各委員，日本電力技術ＫＫ光岡，中村両氏， 九電フライアッシュＫＫ久木田氏，関電フライアッシュＫＫ本間氏，東電フライアッシュ工業ＫＫ高橋，中根両氏，中部電力ＫＫ渡辺，浜両氏。 議事：1) フライアッシュ5社から土木学会あてにフライアッシュ試験依頼があつたので本委員会は中安理事から挨拶があり，吉田委員長から各委員の試験設備によつて引受けうるかを確かめ，依託会社の試験に対する希望事項を聴取した， 2) 試験方法および題目を研究協議， 3) 依託会社側の幹事として東電（高橋氏）とする， 4) 試験に要する経費は土木学会に各社から預託するので幹事で見積つて大体経費を要求すること， 5) 本件に関しては別に土木学会にフライアッシュ委員会を設置する必要がある。

9. 第12回耐震工学委員会 (昭. 32.5.17) 出席者：沼田委員長，東（代），岡本，近藤，田原（代），友永，畠山，平井（代），村（代），最上の各委員，久保幹事。議事：1) 第1回地震工学研究発表会開催要項について，2) 久保幹事から若戸橋振動実験報告があつた。

10. 第15回水理委員会 (昭.32.5.13) 出席者：安芸委員長，米屋幹事長，岩塚，市浦（代鈴木），伊藤，岩井（代畑野），岡田，吉川，坂本，佐藤，扇田，高畑（代鈴木），竹内，浜田（代光易），林，本間，水越（代佐藤），横田， 米元， 渡辺，岩崎，石原，岩垣，田中（清），田中（茂），藤芳，永井，篠原，近藤の各委員。議事：1) Ippen 教授招請について， 2) 昭和 32 年度〝水理学の現況〟の作成， 3) 第3回水理研究会講演会の企画について（a. 遷移流，射流，Cavitation, air entrainment, self priming, b. 水文測定—計器および方法を含む），5) 日本水力学， 水理学実験室一覧が日本学術会議で編集発行した貴重な資料の推薦， 5) 水理公式集改訂の経過報告，6) IASH 測定機器分科会報告書について，7) IUGG 総会に岩垣委員出席されるので学会から推薦すること， 8) 水理研究会会計報告。

11. 第4回土木振興対策委員会 (昭.32.5.22) 出席者：平山会長，金子，河口，千秋，松野の各委員。議事：1) 5月 13 日技術士法が国会で修正可決になつたことについて技術部門の専門区分について協議の結果，土木設計管理小委員会において研究してもらうこと。

12. 第2回水理研究会講演会 (昭.32.5.13)

水理研究会は日本地球物理学連合の一メンバーとして毎年5月に行われる連合講演会に参加している。ただし連合講演会ではあるが，講演の題目，型式に制約はないので，水理研究定は自由に課題を選定し，また講演会もシンポジウムの型式を採用してきた。すなわち討議の時間をプログラムの中に組み，講演内容の疑義についてゆつくり話し合うことも講演会の一つの目標に置いた。

第2回講演会は5月 13 日文京区駒込上富士前町建設省土木研究所講堂で開催され，研究課題は「移動河床」と「沈澱の水理」の2題とし約半年前に発表して論文を募集したものである。応募した研究発表は総数 14 編，うち沈澱に関するものはわづか1編にすぎなかつた。当日は全国から約 90 名の参加者が集まり，午前9時から午後5時まで終始熱心に聴講された。また各発表には 1～3 名の質疑応答があり，中でも講演番号(3)，(11)などの

理論組立の基本に関する問題についてはかなり議論が沸いた。（司会：本間，横田，篠原，石原）

9.10— 9.30 (1) 水源貯水池の水理に関する研究
京大土木 合田 健
9.30— 9.50 (2) 実験水路における移動床の粗度について
信州大土木 杉尾 捨三郎
9.50—10.10 (3) 移動河床の粗度
九大応力研 ○篠原謹爾
山口大土木 椿 東一郎
10.10—10.35 (1)～(3) 討議
10.35—10.55 (4) 蛇行の発生過程に関する研究
京大防災研 足立昭平
10.55—11.15 (5) 河川蛇行性に関する一理論
中大土木 ○林 泰造
〃 谷津栄寿
11.15—11.35 (6) 河床変動の理論的考察
阪大構築 田中 清
11.35—12.00 (4)～(6) 討議
13.00—13.20 特別講演 土木研究所における水理研究の現況
建設土木研 伊藤 剛
13.20—13.40 (7) 河床の移動について
神戸大土木 松梨順三郎
13.40—14.00 (8) 筑後川の土砂移動について
東大土木 高橋 裕
14.00—14.20 (9) 河床変動の実験的研究
京大防災研 ○岩垣雄一
住友電力 千秋賀弘
14.20—14.40 (10) 斐伊川流出土砂の解析とその対策
中四地建 横田周平
14.40—15.10 (7)～(10) 討議
15.10—15.30 (11) 河床砂礫の掃流運搬に関する研究
建設土木研 ○佐藤清一
〃 吉川秀夫
〃 芦田和男
15.30—15.50 (12) 砂泥の浮遊運搬形式に関する二，三の考察
阪大構築 室田 明
15.50—16.10 (13) 実験室内水路における浮遊流砂に関する実験
神戸大土木 田中 茂
〃 ○杉本修一
16.10—16.30 (14) 白川の掃流土砂量
熊本大土木 藤芳義男
16.30—17.00 (11)～(14) 討議

◎ その他

1. 関東地区常議員半数改選（開票 昭.32.5.14，立会者：東理事），投票総数789通，当選者次の9君，垣本一之，小池 誉，五味 信，嶋 祐之，竹内俊雄，寺西弘治，林 泰造，三浦一郎，横尾誠吾。以上によつて石上立夫，小倉宏三，大串満馬，久保慶三郎，斎藤迪孝，平嶋政治，村 幸雄，好井宏海の諸君は退任，浅野 英，粟津清蔵，小川泰平，川口克久，河野康雄，小村 宏，佐藤信一，藤田博愛の諸君は留任された。

2. 夏季講習会打合会（昭.32.5.8）出席者：米屋理事，本間 仁，吉川秀夫，市浦 繁(代鈴木)，岩塚良三，浜田徳一（代井島），林 泰造，白石直文，有賀世治の諸氏。1) 講習会日程：昭和 32 年8月 28 日（水）～30 日（金），2) 会場：早大，共通教室。3) 題目および講師：

題目	講師	所要時間
① 水理公式集の改訂について	委員長 本間 仁	30 分
② 水理公式集 河川編	主査 吉川秀夫	60 分
③ 〃 〃	委員 坂野重信，又は渡辺隆二	60 分
④ 水理公式集 発電水力編	主査 市浦 繁	60 分
⑤ 〃 〃	委員 林 泰造	60 分
⑥ 〃 上下水道編	主査 岩塚良三	105 分
⑦ 〃 〃	委員 徳平 淳	
⑧ 〃 港湾編	主査 浜田徳一	105 分
⑨ 〃 〃	委員 未定	
⑩ 海岸保全施設設計便覧について	本間 仁	30 分
⑪ 海岸保全施設設計便覧（水理現象）	中本誠一郎	30 分
⑫ 〃 （高潮防御）	有賀世治	60 分
⑬ 〃 （浸食対策）	白石直文	60 分
⑭ ダム設計基準について（大ダム国内委員会より推薦のこと）	伊藤令二	60 分

⑨水理公式集港湾編の講師は浜田，岸，井島の3氏で相談して決定する

4) 講習時間割案：

	8.30	9.00	10.00	11.00	12.00	13.00	14.00	15.00	16.00	17.00	18.00
第1日 (水)	会挨長拶	本間	河川編		発電水力編	昼食	発電水力編	ダム設計基準	映画（佐久間ダム）		
第2日 (木)	上下水道編		港湾編		昼食	本間	中本	有賀	白石	映画	終講式
第3日 (金)	見学会									（映画）テトラポット・上下水道・水源林	

5) 映画：佐久間ダム 第3部 110分
テトラポット 30分
上下水道 10分
水源林 10分
その他

6) 見学先：a) 東京・横浜港
b) 電力技術研究所と外1カ所
c) 建設省土木研究所，赤羽，篠崎分室
d) 東京都および川崎市長沢浄水場，日本ヒューム管工場

7) 教材について：A) 水理公式集，海岸保全施設設計便覧，ダム設計基準
B) 水理公式集，ダム設計基準
C) 水理公式集，海岸保全施設設計便覧

8) その他：夜の東京見物

◎ 関係学協会の動き

1. 日本工学会（1）次期理事会互選の結果，次の各学会がそれぞれ当選した。

1) 応用物理学会 2) 日本鉱業会 3) 日本機械学会
4) 土木学会(担当理事は米屋理事) 5) 照明学会
6) 日本化学会

(2) 同総会（昭. 32.5.7，神田一ツ橋学士会館において）会長選挙の結果，加茂正雄氏再選された。昭和31年度事業報告および決算報告その他，次期監事学会：日本鉄鋼協会，造船協会。

(3) 同会では5月 21 日事務所を東京都千代田区神田佐久間町1の 11 佐久間ビル3階造船協会内（電（25）4358）に移転した。

2. 京大土木教室 60 周年祝賀式典（昭.32.5.18）京都大学土木教室は明治 30 年創設せられ本年で満 60 周

年を迎え記念会式典を挙行されたので，平山会長出席し祝辞を述べ非常に盛大であつた。

3. 建設機械化協会（昭.32.5.25）では昭和 32 年度建設機械展示会を 5 月 25 日より 6 月 5 日まで開催するに当り盛大な開会式を挙行した。

4. 都市不燃化同盟総会（昭.32.5.27）議事：昭和 31 年度決算報告，2）昭和 32 年度予算案および事業計画案承認，3）懸賞論文入選者並びに都市不燃化賞授賞式，4）文化映画上映。

5. 土質工学会総会（昭.32.5.29）では参加者約 130 名を得て，土木学会会議室において総会および講演会を行い，役員に次の諸氏が選ばれた。会長　当山道三，副会長　清野　保，富樫凱一，後藤正司。

土質工学会総会における当山会長新任挨拶

6. 日本保線協会総会（昭.32.5.30）土木学会会議室に出席者約 100 名を得て行われた。会長　黒河内四郎，副会長　後藤宇太郎，馬淵寅雄の 3 氏が推された。

7. 日本建築学会　では 5 月 30 日，昭和 31 年度学会賞贈呈式を開催した。受賞者：第 1 部（論文）7，第 2 部（作品）4，第 3 部（その他 1），

支　部　だ　よ　り

1. 東北支部　総会（昭.32.5.17）参会者 89 名を得て盛会であつた。議事：1）昭和 31 年度事業経過および決算報告，2）昭和 32 年度事業計画および予算案，3）役員改選，4）新支部長あいさつ，5）前支部長あいさつ，6）その他，以上総会終了後次の記念講演があつた。

フイリピン　ビンガー発電所の国際入札参加について（中村脩次郎），欧米高速道路について（藤森謙一）

（支部役員）支部長：佐藤清見，　顧問：池田徳治，高橋甚也，鶴見一之，宮本　保，照井陸三郎，　常議員：中村脩次郎，平井弥之助，大谷英，樋浦大三，牧野　茂，　商議員：原田千三，中野定吉，小野徳寿，久木　力，杉本三吾，安河内麻雄，村上兵四郎，北村市太郎，石森虎雄，三浦文次郎，小谷一男，高木　健，河上房義，磯部磯七，谷垣　博，米村新之助，行友　誠，佐藤寛三，門沢利三，柴橋種造，矢崎道美。

2. 北海道支部

（役員名簿）支部長：小川譲二，　幹事長：伊福部宗夫，　商議員：堂垣内尚弘，有江義晴，三上健三郎，入江　但，当銀清一，沢田克巳，中田勝一，小林雄二郎，鷹田正人，酒井　一，柳内泰夫，青柳晴一，緒谷剛一，林　猛雄，尾崎　晃，猪瀬寧雄，米田達雄，池田英三郎，千葉　寛，清水源長，　地区常議員：伊福部宗夫，有江義晴，入江　但，　学会編集委員：尾崎　晃。

3. 中部支部　第 1 回幹事会（昭.32.4.9）出席者：石田支部長，井上幹事長以下幹事 17 名。議事：a）前年度よりの事務引継，b)昭和 32 年度役員依頼，c）昭和 32 年度予算案，d）同行事予定，e）次回役員会，見学会および講演会，f）その他，**第 1 回役員会**（昭.32.4.27）出席者：石田支部長以下 26 名，議事：a）役員の選任，b）昭和 31 年度決算，c）見学会，d）土本技術者の分布状況調査（土木振興対策委員長からの依頼），e）その他

（役員名簿）支部長：石田二郎，　顧問：田淵寿郎，永田民也，花井又太郎，石川栄次郎，松本金吾，大林勇治，杉戸　清，前田一三，　評議員：中島　武，奥田秋夫，熊本政晴，和田恒広，高谷高一，庄司儀夫，紙谷斎治，小林庄平，吉田直茂，鬼丸忠男，佐藤康治，荒井利一郎，永井時一，結城朝恭，大崎虎二，松見三郎，鈴木誠一，宮田隆一郎，吉田朝次郎，高倉幹夫，加藤英司，長浜正雄，関　一雄，高橋与三郎，鈴木和平，渡部時也，鵜飼孝造，中谷茂一，近藤三部，姫野勘治郎，水野太賀，伊藤政恵，大谷新太郎，　幹事長：井上幸太郎，　幹事：三浦孝雄，田所文男，片岡紀一，菱田英三，野原真孝，野田　稔，由良　勇，渡辺新三，増田重臣，小野一良，佐藤健吉，谷　重幸，栗田亀造，村瀬　清，中条隆一郎，加藤清一，伊藤太郎，藤本　得，堀場正一，樽井常忠，早川増一郎，土方大弐，長坂一彦，白井実次，松本邦顕，鈴木和夫，宮脇潤，　常議員：橋本規明，堀場鉱一，川村武夫，井上幸太郎，上野実昭，足立貞嘉。

4. 関西支部　第 30 回総会および講演（昭.32.5.10）参加者 30 名。所定の議事無事終了後新聞に出ない日本の内外諸状勢（評論家塩沢元次氏）の講演があり懇親会に移り和やかに散会した。支部長・常議員の改選：（新支部長）稲垣茂樹君（神戸市建設局長），（常議員）米谷栄二，永井荘七郎，徳岡堅三，稲垣茂樹の 4 君。

5. 中国四国支部　支部長更迭：新支部長　庄司陸太郎君（広島大学教授）

6. 西部支部　新役員が次のとおり決定した。

支部長：田中寛二，　商議員：田代信雄，兼重信雄，鴉崎文雄，吉田光太郎，斎藤隆一，蒲池浪統，河村　繁，黒沢文雄，長谷川正勝，篠原謹爾，藤芳義男，川上謙太郎，蓮尾誌蔵，田中敬親，西松康友，宮子時雄，江口辰五郎，田中武夫，東条哲夫，兼重　譲，中尾光信，　常議員：山崎徳也，平田茂徳，山口和雄，坂田静雄，田賀秀和，上之土実，　幹事長：吉川吉三，　幹事：久富一之，日向野良也，直村徳三，山内豊聰，横田光彦，小松雅彦，有田　達，古賀公平，小金丸義雄，佐波勝一，山田専一，

昭和 32 年 5 月分入退会報告（昭.32.5.1～5.31）

1. **入　会　327 名**（特 1 級 A 1，特 1 級 B 1，特 1 級 C 8，特 2 級 18，特 3 級 7，正 31，准 75，学生 186）
2. **退　会　529 名**（正 12，准 5，会費未納退会 512）
3. **転　格　191 名**（特 1 級より特 1 級 A へ 4，特 2 級より特 1 級 B へ 4，特 2 級より特 1 級 C へ 15，特 2 級より特 1 級 A へ 1，特 3 級より特 1 級 C へ 5，特 3 級より特 2 級へ 17，准より正へ 22，学生より准へ 122，准より学生へ 1）

東京都の機構改革

東京都では，首都圏整備事業の発足にともない，次のような土木事業部門の機構の改革，充実を行つた。

建設局：道路事業の拡大にともない，従来の道路部を，道路建設部と道路管理部に分離し，それぞれ増課した。

交通局：地下鉄，懸垂電車などの新事業のため，高速電車建設部，水力電気事業のため発電建設部を新設した。

水道局：下水事業の拡充整備にともない，下水部に計画課を新設し，外部の管理事務所と工事事務所を計5カ所に増設した。

コンクリート講習会 御案内

コンクリート技術の一般基本事項を講習し，とくに昭和 31 年土木学会制定の「コンクリート標準示方書」の趣旨を徹底せしめるため，当協会ではこのたび下記のような講習会を開催いたします。受講希望者は来る7月8日までに日本セメント技術協会宛御申込下さい。

1. 会　期　昭和 32 年7月 15 日（月）～19 日（金），（講義2日，実習および見学3日）

2. 会　場　東京都文京区本富士町　東京大学工学部　大講堂

3. 受講料　500 円（プリント代，実習，見学費を含む）（代金当日払）

4. 講義科目と講師

(1) コンクリート概論……吉田徳次郎氏
(2) セメント概論ならびに試験方法について……田中太郎氏，浅岡勝彦氏，梅村武雄氏
(3) コンクリートの材料，配合，練り混ぜおよび試験……三浦一郎氏
(4) コンクリートの打込み，養生および試験……山田順治氏
(5) コンクリートの品質管理……丸安隆和氏
(6) コンクリートの配合設計の例題……国分正胤氏
(7) 鉄筋コンクリート……川口輝夫氏
(8) コンクリート道路……谷藤正三氏
(9) ダムコンクリート……関慎吾氏

5. 実　習

(1) セメントの試験　(2) コンクリートの配合設計　(3) コンクリートの試験

6. 見　学

……東京都内（一部は川崎市）の生コンクリート工場などの現場見学

主催　社団法人 **日本セメント技術協会**　東京都港区赤坂台町1番地　電話 赤坂（48）8541～3番
後援　**土木学会・建設省**

会員現在数（昭 32.5.31 現在）

名誉員	賛助員	特1級A	B	C	特2級	特3級	正員	准員	学生員	合計	減少
20	30	6	5	54	92	109	6 944	5 022	1 100	13 382	202

正員	鎌田　光君	関西電力 KK 殿山水力建設所勤務	昭和32年4月22日逝去　享年32才
正員	川畑一男君	南生建設 KK 社長	昭和32年5月4日逝去　享年48才
正員	杉原閤郎君	大阪府堺市鳳中町8ノ275の自存にて	昭和32年5月4日逝去　享年32才
正員	吉田稔男君	東京都三鷹市下連雀 51 の自宅にて	昭和32年5月4日逝去　享年70才

昭和 32 年 6 月 10 日印刷　昭和 32 年 6 月 15 日発行　土木学会誌 第 42 巻 第 6 号
印刷者 大沼正吉　印刷所 株式会社 技報堂 東京都港区赤坂溜池5番地
編集兼発行者 中川一美　発行所 社団法人 土木学会 東京都新宿区四谷一丁目(外濠公園入口)
定価 100 円　振替 東京 16828 番　電話 (35) 5138・5139 番